

3. 恵まれた資源を活かした観光大陸北海道の形成

美しい沿道景観の保全・創出のためのシーニックバイウェイプログラムの推進等景観に配慮した整備とともに、アウトドア活動や自然に親しむ活動に資する空間等の整備を進め、北海道ならではの自然環境、農村景観等を活かした観光交流空間の形成を図る。

また、観光交流をはじめ、国内外との交流のゲートウェイとなる空港や港湾の整備やこれらと観光地間及び観光地相互間を結ぶ高速交通ネットワーク等の整備により観光客等の利便性の向上を図る。

- ① 魅力的な美しい沿道景観の形成や、歴史的な建造物・街並み景観の保存、美しい田園風景づくりなど、地域の風土に根ざした新たな観光空間の創造を推進する。

将来に向けた長期的な取組

- ・ 北海道の美しく雄大な自然景観、田園風景などの沿道景観を活かした取組みにより、広域的な観光ルートの魅力増進を図る。
- ・ 歴史的な建造物、街並み景観の保存などにより、ゆとりと潤いのある住宅地区の形成を推進する。

主要施策・主要事業

- ・ シーニックバイウェイプログラムの推進
- ・ 街なみ環境整備事業

計画期間（H19年度まで）における取組

【主要施策・主要事業】

シーニックバイウェイプログラムの推進

街なみ環境整備事業

- ・ 江差町（中歌姥神歴まち）【供用】
- ・ 真狩村（真狩・錦・社）等【一部供用】



シーニックバイウェイ（活動例）



歴史的街なみの再創出と住環境の改善
を図る街なみ環境整備事業
＜江差町（中歌姥神歴まち）：イメージ図＞

② 河川やダムを始めとした水辺空間の多面的利用を可能とする観光機能の向上、海と気軽にふれあえ親しみやすい良好なウォーターフロント空間の形成を図る。

将来に向けた長期的な取組

- ・ 多くの観光客や市民が来訪する港湾地区において、水質及び悪臭等の改善を図るシーブルー事業を推進し、観光客や市民が親しみやすい良好なウォーターフロント空間を提供する。
- ・ 沿岸部への良好なアクセスが乏しい北海道において、親水性施設や海辺へのアクセスを可能にする施設の整備により、海とのふれあいの促進を図る。
- ・ 親水公園の整備など地域と一体となった河川環境の整備や、新たに創出するダム湖周辺の整備により、水辺空間の多面的利用を推進する。

主要施策・主要事業

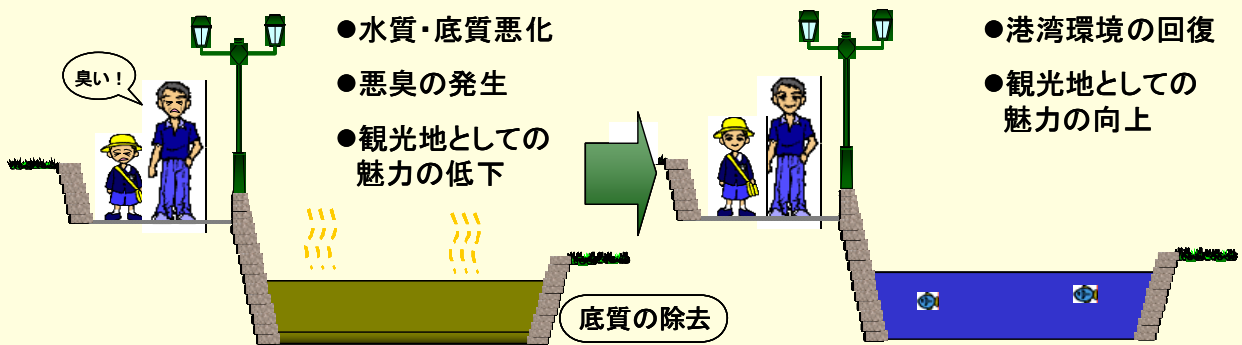
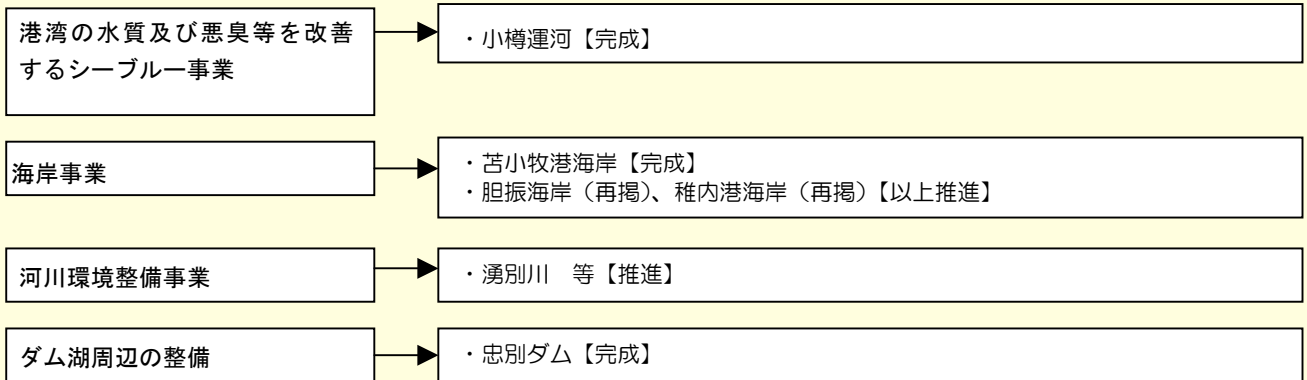
- ・ 港湾の水質及び悪臭等を改善するシーブルー事業
- ・ 河川環境整備事業
- ・ 海岸事業（高潮対策、侵食対策、海岸環境整備）
- ・ ダム湖周辺の整備

計画期間（H19年度まで）における取組

【指標】

- ・ 港湾の水質及び悪臭等の改善を図るシーブルー事業の実施により、観光客や市民が親しみやすい良好な水際線を約500m提供する。
- ・ 海岸事業の推進により、親水性施設や海辺へのアクセスを可能にする施設の延長を11km延伸させる。

【主要施策・主要事業】



シーブルー事業（小樽運河）



海岸事業（苫小牧港海岸（汐見地区護岸））



湧別川水辺プラザのイメージ

③ 公園の整備等により、体験型観光やアウトドア活動に必要なフィールドの提供を推進する。

将来に向けた長期的な取組

- ・ 広域公園等を整備することにより、広域のかつ多様なレクリエーションニーズに対応したフィールドを提供する。
- ・ 自然遺構を活用した観光施策への支援により、自然の営みを体験できるフィールドを提供する。

主要施策・主要事業

- ・ オートキャンプ対応型の公園整備
- ・ 自然体験型の公園整備
- ・ エコミュージアム整備への支援

計画期間（H19年度まで）における取組

【主要施策・主要事業】

オートキャンプ対応型の公園整備

- ・ 十勝エコロジーパーク【完成】
- ・ 噴火湾パノラマパーク【部分供用】 等

自然体験型の公園整備

- ・ 滝野すずらん丘陵公園、サンピラーパーク 等【以上部分供用】

エコミュージアム整備への支援

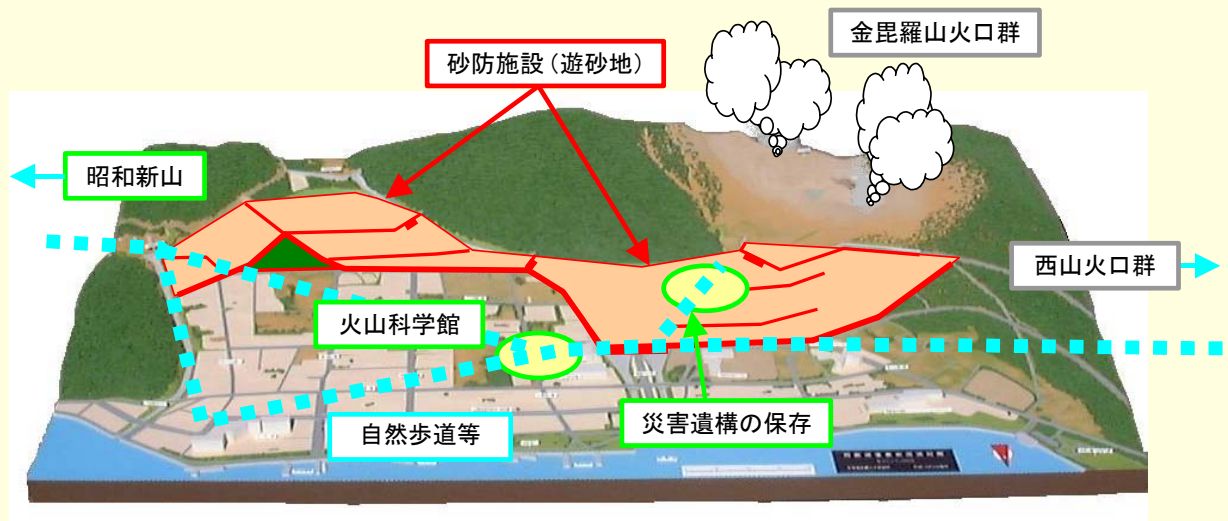
- ・ 有珠山泥流対策【完成】



噴火湾パノラマパーク



十勝エコロジーパーク



洞爺湖温泉街の泥流対策施設とエコミュージアム構想

④ 国内外の観光客の利便性向上を図るため、空港、港湾等の機能強化を推進する。

将来に向けた長期的な取組

- ・ 旅客船等に対応した埠頭を中心市街地と近接した臨海部に整備し、観光客の利便性の向上を図るとともに、親しみやすい良好な港湾空間を提供する。
- ・ 航空機の貨客積載制限の解消による国際交流の拡大を推進する。
- ・ 離島における高速交通ネットワーク確保により、観光交流等の促進を図る。
- ・ 混雑する空港旅客ターミナルにおけるターミナル拡張により、旅客利便性の向上を図る。
- ・ 航空機の運航頻度の増加等に伴う航空機の地上走行を円滑にするターミナル地域等の改良により、効率性の向上を図る。

主要施策・主要事業

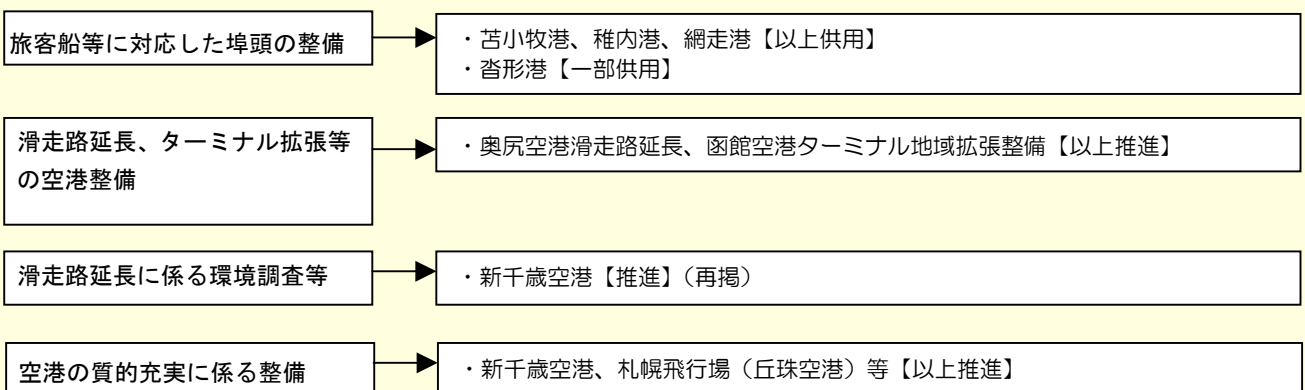
- ・ 旅客船等に対応した埠頭の整備
- ・ 空港の質的充実に係る整備
- ・ 滑走路延長、ターミナル拡張等の空港整備

計画期間（H19年度まで）における取組

【指標】

- ・ 旅客船等に対応した埠頭を中心市街地と近接して供用開始させ、中心市街地から埠頭までの徒歩での移動時間を平均約15分短縮し、観光客や市民の利便性の向上を図る。

【主要施策・主要事業】





稚内港国際・離島フェリー埠頭イメージ図



奥尻空港の滑走路延長



網走港旅客船対応埠頭イメージ図



函館空港のターミナル地域拡張イメージ図

- ⑤ 効率的な観光拠点間ネットワークや情報提供システムの構築を推進し、観光振興に資する地域、情報、人のネットワーク化を図る。

将来に向けた長期的な取組

- ・ 規格の高い道路の整備を推進し、道路の機能分化と効率的なネットワークの形成を図る。
- ・ 空港及び港湾へのアクセス道路の整備により、利便性の向上を図る。
- ・ 市町村からジェット化空港へのアクセス性の向上により、観光交流の促進を図る。
- ・ 街路整備により、観光拠点へのアクセス性向上を図る。
- ・ 国内外の観光客に対する適切な案内や情報提供のための体制構築を推進する。

主要施策・主要事業

- ・ 高規格幹線道路の整備
- ・ 地域高規格道路の整備
- ・ 一般国道及び地方道の整備
- ・ 街路の整備
- ・ 観光案内・情報提供システムの構築

計画期間（H19年度まで）における取組

【指標】

- ・ 北海道全体における、規格の高い道路を使う割合を、5%から約6%に向上させる。
- ・ 高速交通ネットワーク等へ10分以内に到達可能な主要な空港の割合を、30%から40%に向上させる。
- ・ 90分以内にジェット化空港へ到達できる市町村数を67%→69%とする。

【主要施策・主要事業】

高規格幹線道路整備

- ・ 北海道縦貫自動車道（再掲）
- ・ 北海道横断自動車道（再掲）
- ・ 日高自動車道厚真門別道路【H17年度供用】（再掲）
- ・ 深川留萌自動車道沼田幌糠道路【H17年度供用】（再掲）
- ・ 旭川紋別自動車道愛別上川道路【H18年度供用】（再掲）
- ・ 帯広広尾自動車道川西中札内道路【H17年度部分供用】（再掲）
- ・ 函館江差自動車道函館茂辺地道路【H19年度供用】（再掲）

地域高規格道路整備

- ・道央圏連絡道路新千歳空港関連【推進】(再掲)、美原バイパス【H16 年度供用】(再掲)
- ・旭川十勝道路富良野道路【推進】
- ・函館新外環道路空港道路【着工】
- ・帯広空港道路幸福インター線【供用】

一般国道及び地方道整備

- ・国道 38 号釧路新道【H19 年度供用】(再掲)
- ・国道 38・44 号釧路外環状【推進】(再掲)
- ・国道 234 号早来道路【H17 年度供用】(再掲)
- ・主要道道静川美沢線、主要道道新千歳空港線、主要道道釧路空港線【以上供用】
- ・主要道道丸瀬布インター線【推進】

街路の整備

- ・登別市登別温泉通【供用】

観光案内・情報提供システムの構築



新千歳空港アクセス道路

■道の駅における情報発信機能を強化します。

平成15年度から道の駅に「道路情報提供端末(仮称)」の整備を進めています。「道路情報提供端末(仮称)」はリアルタイムな路面情報や気象情報、地域情報を提供します。

